

第6章 「健康と所得」への付録

この付録には、紙数の制約で本文に収録されなかった賃金所得、健康、就業関数の推定結果と表3、4に対応する1989、1992年の集計表を収録している。

まず、表A-1、A-2は、推定で使用する変数の基本統計量を示したものである。以下のすべての表について、(A)は1989年、(B)は1992年、(C)は1995年の数値を示す。「非労働所得」は、雇用者所得、事業所得、農耕・畜産所得、家内労働所得以外の所得、「その他世帯員の所得」は、世帯内で当該個人以外の世帯員の所得を合計したもので、「家族の健康指標」は、世帯内で当該個人以外の健康指標の平均値（単身者については便宜上、良い健康状態の値を当てはめた）である。

A.1 賃金所得関数

表A-3、A-4は、使用した健康指標ごとに、(a)健康を外生変数とした通常最小自乗法による推定、(b)賃金所得と健康を内生変数とした推定結果を示したものである。健康指標と変数の内生性の場合わけは、以下の健康・就業関数でも同様の形式となる。

1995年について見ると、表A-3(C)の55歳未満の男性については、傷病をのぞく各健康指標は賃金所得に対して負で有意となっており、健康の悪化が個人の所得を低下させることを示している。なかでも、仕事への影響を健康指標としてとった場合の係数は他の健康指標の場合に比べて高く、仕事に悪影響を及ぼすほどの健康上の障害がある場合には、所得に対する影響がより高いことが示唆される。

A.2 健康関数

健康関数の推定結果は、表A-5、A-6に示されている。probit推定によるため、係数推定値ではなく、限界効果（各説明変数の限界的变化に対する健康指標が1となる確率の変化）を表示してある。ただし、質的変数については、0から1へ変化したことの被説明変数に与える影響を示している。

どの健康指標をとるかによって、賃金所得の影響は符号・有意性ともにさまざまであり、まとまった結果を見出しにくい。

健康関数を推定する上での最大の問題点は、健康を説明する説明力の高い変数を見出すことが困難なことである。ここでの推定式にもその問題が反映されており、疑似 R^2 の値はあまり高くない。健康に対する説明力の高いのは、他の世帯員の健康指標を平均した変数である。この指標と本人の健康指標に正の相関が見られることは、家族の生活習慣や看病の負担など、家族内の健康状態が同調するような何らかのメカニズムがあるのかもしれない。

い。

いずれにしても、2段階推定においては、健康関数の説明力を高めることが、健康の所得・離職への影響の推定の安定性を高めることになるので、より説明力の高い定式化を模索することが今後の研究課題である。

A.3 就業関数

就業関数の推定結果は、表 A-7, A-8 に示されている。1995 年について見ると、表 A-7(C) での 30~54 歳の男性については、いずれの健康指標も有意に離職を増加させる。しかし、表 A-8(C) の 55 歳以上男子については、(b) の健康と賃金所得の内生性を考慮した場合には、離職に影響を与えないという結果となっている。

A.4 健康指標と就業・所得の関係

表 A-9 (A-10) は、本文の表 3 (4) に対応する 89, 92 年の集計表である。

表A-1(A) 基本統計量 (30~54歳・男性, 1989年)

変数の説明	平均	標準偏差	最小値	最大値
(量的変数)				
賃金所得の対数	6.012	0.566	0.000	7.139
年齢	41.752	6.809	30	54
年齢の自乗	1,789.623	574.442	900	2916
非労働所得の対数	-0.525	1.434	-1 ²⁾	8.882
その他世帯員の所得の対数	2.497	3.170	-1 ²⁾	8.407
金融資産の対数	5.157	2.185	-1 ²⁾	8.086
負債の対数	3.349	3.406	-1 ²⁾	7.719
家族の健康指標 (傷病)	0.199	0.282	0	1
家族の健康指標 (自覚症状)	0.250	0.327	0	1
家族の健康指標 (健康意識)	0.096	0.209	0	1
(質的変数)				
傷病の有無 (有 = 1)	0.154			
自覚症状の有無 (有 = 1)	0.242			
仕事への影響 (有 = 1)	0.029			
健康意識 (よくない, あまりよくない = 1)	0.084			
就業 (= 1)	0.995			
有配偶 (= 1)	0.896			
都市規模				
大都市	0.191			
15万人以上の都市	0.300			
5~15万人の都市	0.204			
5万人未満の都市	0.056			
郡部	0.247			
日頃実行している事柄				
規則正しく食事をする	0.600			
バランスのとれた食事をしている	0.452			
うす味の物を食べている	0.322			
腹八分目にしている	0.320			
定期的に運動をする	0.296			
気分転換の時間をとっている	0.326			
睡眠時間を十分にとる	0.463			
就床者	0.048			

注1) 1989年。標本数は15,926。

2) 所得が0となるものについては, -1を代入した。

表A-1(B) 基本統計量 (30~54歳・男性, 1992年)

変数の説明	平均	標準偏差	最小値	最大値
(量的変数)				
賃金所得の対数	6.180	0.547	0.693	7.288
年齢	42.159	6.827	30	54
年齢の自乗	1,823.945	575.424	900	2916
非労働所得の対数	-0.559	1.424	-1 ²⁾	7.882
その他世帯員の所得の対数	2.694	3.226	-1 ²⁾	8.826
金融資産の対数	5.327	2.219	-1 ²⁾	8.086
負債の対数	3.304	3.488	-1 ²⁾	7.719
家族の健康指標 (傷病)	0.201	0.288	0	1
家族の健康指標 (自覚症状)	0.237	0.324	0	1
家族の健康指標 (健康意識)	0.087	0.205	0	1
(質的変数)				
傷病の有無 (有 = 1)	0.164			
自覚症状の有無 (有 = 1)	0.219			
仕事への影響 (有 = 1)	0.027			
健康意識 (よくない, あまりよくない = 1)	0.078			
就業 (= 1)	0.989			
有配偶 (= 1)	0.877			
都市規模				
大都市	0.185			
15万人以上の都市	0.318			
5~15万人の都市	0.218			
5万人未満の都市	0.060			
郡部	0.219			
日頃実行している事柄				
規則正しく食事をとる	0.583			
バランスのとれた食事をしている	0.444			
うす味の物を食べている	0.310			
腹八分目にしている	0.314			
定期的に運動をする	0.300			
気分転換の時間をとっている	0.352			
睡眠時間を十分にとる	0.469			
就床者	0.047			

注1) 1992年。標本数は14,559。

2) 所得が0となるものについては, -1を代入した。

表A-1(C) 基本統計量 (30~54歳・男性, 1995年)

変数の説明	平均	標準偏差	最小値	最大値
(量的変数)				
賃金所得の対数	6.240	0.547	0.693	7.313
年齢	42.395	7.084	30	54
年齢の自乗	1,847.473	597.170	900	2916
非労働所得の対数	-0.464	1.518	-1 ²⁾	8.083
その他世帯員の所得の対数	2.438	3.288	-1 ²⁾	9.043
金融資産の対数	5.290	2.189	-1 ²⁾	8.086
負債の対数	3.430	3.568	-1 ²⁾	7.719
家族の健康指標 (傷病)	0.220	0.311	0	1
家族の健康指標 (自覚症状)	0.255	0.342	0	1
家族の健康指標 (健康意識)	0.083	0.205	0	1
(質的変数)				
傷病の有無 (有 = 1)	0.182			
自覚症状の有無 (有 = 1)	0.231			
仕事への影響 (有 = 1)	0.023			
健康意識 (よくない, あまりよくない = 1)	0.070			
就業 (= 1)	0.982			
有配偶 (= 1)	0.848			
都市規模				
大都市	0.187			
15万人以上の都市	0.301			
5~15万人の都市	0.239			
5万人未満の都市	0.062			
郡部	0.211			
日頃実行している事柄				
規則正しく食事をとる	0.529			
バランスのとれた食事をしている	0.361			
うす味の物を食べている	0.250			
腹八分目にしている	0.253			
定期的に運動をする	0.263			
気分転換の時間をとっている	0.315			
睡眠時間を十分にとる	0.425			
就床者	0.050			

注1) 1995年。標本数は11,997。

2) 所得が0となるものについては, -1を代入した。

表A-2(A) 基本統計量 (55歳以上・男性, 1989年)

変数の説明	平均	標準偏差	最小値	最大値
(量的変数)				
賃金所得の対数	5.654	0.897	0.000	7.139
年齢	60.845	5.610	55	95
年齢の自乗	3,733.561	733.013	3025	9025
非労働所得の対数	1.551	2.948	-1 ²⁾	7.889
その他世帯員の所得の対数	3.478	3.098	-1 ²⁾	8.617
金融資産の対数	5.679	2.334	-1 ²⁾	8.086
負債の対数	2.326	3.417	-1 ²⁾	7.719
家族の健康指標 (傷病)	0.306	0.379	0	1
家族の健康指標 (自覚症状)	0.331	0.398	0	1
家族の健康指標 (健康意識)	0.142	0.288	0	1
(質的変数)				
傷病の有無 (有 = 1)	0.383			
自覚症状の有無 (有 = 1)	0.355			
仕事への影響 (有 = 1)	0.062			
健康意識 (よくない, あまりよくない = 1)	0.130			
就業 (= 1)	0.901			
有配偶 (= 1)	0.941			
都市規模				
大都市	0.186			
15万人以上の都市	0.278			
5 ~ 15万人の都市	0.196			
5万人未満の都市	0.066			
郡部	0.259			
日頃実行している事柄				
規則正しく食事をとる	0.799			
バランスのとれた食事をしている	0.572			
うす味の物を食べている	0.494			
腹八分目にしている	0.527			
定期的に運動をする	0.331			
気分転換の時間をとっている	0.295			
睡眠時間を十分にとる	0.676			
就床者	0.067			

注1) 1989年。標本数は4,425。

2) 所得が0となるものについては, -1を代入した。

表A-2(B) 基本統計量 (55歳以上・男性, 1992年)

変数の説明	平均	標準偏差	最小値	最大値
(量的変数)				
賃金所得の対数	5.793	.8745227	0.099	7.290
年齢	61.068	5.493	55	94
年齢の自乗	3,759.459	718.668	3025	8836
非労働所得の対数	1.553	2.999	-1 ²⁾	7.969
その他世帯員の所得の対数	3.560	3.156	-1 ²⁾	9.276
金融資産の対数	5.850	2.312	-1 ²⁾	8.086
負債の対数	2.452	3.489	-1 ²⁾	7.719
家族の健康指標 (傷病)	0.306	0.381	0	1
家族の健康指標 (自覚症状)	0.310	0.393	0	1
家族の健康指標 (健康意識)	0.123	0.271	0	1
(質的変数)				
傷病の有無 (有 = 1)	0.398			
自覚症状の有無 (有 = 1)	0.336			
仕事への影響 (有 = 1)	0.047			
健康意識 (よくない, あまりよくない = 1)	0.118			
就業 (= 1)	0.897			
有配偶 (= 1)	0.944			
都市規模				
大都市	0.186			
15万人以上の都市	0.280			
5 ~ 15万人の都市	0.221			
5万人未満の都市	0.076			
郡部	0.220			
日頃実行している事柄				
規則正しく食事をとる	0.792			
バランスのとれた食事をしている	0.588			
うす味の物を食べている	0.488			
腹八分目にしている	0.518			
定期的に運動をする	0.356			
気分転換の時間をとっている	0.347			
睡眠時間を十分にとる	0.678			
就床者	0.057			

注1) 1992年。標本数は4,743。

2) 所得が0となるものについては, -1を代入した。

表A-2(C) 基本統計量 (55歳以上・男性, 1995年)

変数の説明	平均	標準偏差	最小値	最大値
(量的変数)				
賃金所得の対数	5.847	0.917	0	7.313
年齢	61.485	5.668	55	98
年齢の自乗	3,812.545	747.606	3025	9604
非労働所得の対数	1.737	3.068	-1 ²⁾	8.482
その他世帯員の所得の対数	3.271	3.227	-1 ²⁾	8.195
金融資産の対数	5.812	2.317	-1 ²⁾	8.086
負債の対数	2.266	3.511	-1 ²⁾	7.719
家族の健康指標 (傷病)	0.332	0.398	0	1
家族の健康指標 (自覚症状)	0.335	0.407	0	1
家族の健康指標 (健康意識)	0.123	0.277	0	1
(質的変数)				
傷病の有無 (有 = 1)	0.422			
自覚症状の有無 (有 = 1)	0.354			
仕事への影響 (有 = 1)	0.044			
健康意識 (よくない, あまりよくない = 1)	0.109			
就業 (= 1)	0.868			
有配偶 (= 1)	0.929			
都市規模				
大都市	0.186			
15万人以上の都市	0.286			
5 ~ 15万人の都市	0.224			
5万人未満の都市	0.067			
郡部	0.237			
日頃実行している事柄				
規則正しく食事をとる	0.754			
バランスのとれた食事をしている	0.507			
うす味の物を食べている	0.421			
腹八分目にしている	0.412			
定期的に運動をする	0.319			
気分転換の時間をとっている	0.303			
睡眠時間を十分にとる	0.630			
就床者	0.064			

注1) 1995年。標本数は4,303。

2) 所得が0となるものについては, -1を代入した。

表A-3(A) 賃金所得関数の推定結果 (30~54歳・男性, 1989年)

	(%)							
	健康意識		仕事への影響		傷病		自覚症状	
	(a)	(b)	(a)	(b)	(a)	(b)	(a)	(b)
健康指標	-6.64 (3.82)	-14.32** (2.60)	-34.01** (5.97)	-26.10** (3.32)	7.60** (2.51)	4.67 (3.23)	-6.14* (2.60)	-7.85** (2.10)
年齢	39.42** (4.01)	-41.34** (3.99)	-38.47** (4.01)	-34.53** (3.99)	-39.17** (4.00)	-39.18** (4.04)	-39.44** (4.02)	-40.29** (4.01)
年齢の自乗	0.26** (0.03)	0.28** (0.03)	0.25** (0.03)	0.23** (0.03)	0.26** (0.03)	0.26** (0.03)	0.26** (0.03)	0.27** (0.03)
都市規模	-5.61 (3.96)	-6.38 (3.94)	-5.74 (3.94)	-6.80 (3.89)	-5.30 (3.97)	-5.15 (3.97)	-5.75 (3.96)	-6.50 (3.95)
15万人以上								
都市規模	19.84** (4.26)	-21.67** (4.27)	-20.77** (4.26)	-27.45** (4.28)	-19.53** (4.25)	-19.43** (4.25)	-19.79** (4.27)	-20.24** (4.26)
5~15万人								
都市規模	-47.00** (7.45)	-49.87** (7.38)	-46.95** (7.36)	-47.74** (7.36)	-46.65** (7.42)	-46.57** (7.43)	-46.93** (7.47)	-47.55** (7.42)
5万人未満								
都市規模	-53.19** (4.19)	-55.11** (4.17)	-53.50** (4.17)	-55.86** (4.13)	-52.66** (4.17)	-52.41** (4.18)	-53.15** (4.19)	-53.64** (4.18)
郡部								
R ²	0.18	0.19	0.19	0.19	0.18	0.18	0.18	0.18

注) 1989年。標本数は15,926。被説明変数は賃金所得の対数。括弧内の数値は標準誤差。定数項の結果は省略。

(a)は健康を外生変数とした場合, (b)は賃金所得と健康が内生変数である場合。

**は1%水準で有意。

*は5%水準で有意。

表A-3(B) 賃金所得関数の推定結果 (30~54歳・男性, 1992年)

	(%)							
	健康意識		仕事への影響		傷病		自覚症状	
	(a)	(b)	(a)	(b)	(a)	(b)	(a)	(b)
健康指標	-11.24**	-12.19**	-25.11**	-25.97**	-2.52*	-9.71**	-6.41**	-5.99**
	(1.82)	(1.07)	(3.63)	(1.51)	(1.25)	(1.68)	(1.14)	(0.93)
年齢	9.71**	10.24**	9.61**	8.94**	9.67**	9.79**	9.63**	9.62**
	(0.88)	(0.87)	(0.87)	(0.87)	(0.88)	(0.88)	(0.88)	(0.88)
年齢の自乗	-0.10**	-0.10**	-0.10**	-0.08**	-0.10**	-0.09**	-0.10**	-0.10**
	(0.01)	(0.01)	(0.01)	(0.01)	(0.01)	(0.01)	(0.01)	(0.01)
都市規模	-4.25*	-5.36**	-4.28*	-7.52**	-4.12*	-4.74*	-4.12*	-4.20*
15万人以上	(1.86)	(1.85)	(1.86)	(1.83)	(1.87)	(1.87)	(1.86)	(1.86)
都市規模	-8.86**	-9.66**	-8.91**	-11.54**	-8.77**	-9.38**	-8.89**	-9.27**
5~15万人	(2.06)	(2.04)	(2.05)	(2.01)	(2.07)	(2.06)	(2.06)	(2.06)
都市規模	-33.19**	-34.12**	-33.17**	-34.18**	-33.08**	-33.96**	-33.17**	-33.54**
5万人未満	(3.19)	(3.16)	(3.17)	(3.12)	(3.19)	(3.20)	(3.18)	(3.19)
都市規模	-28.09**	-29.11**	-27.89**	-27.37**	-27.94**	-28.09**	-28.00**	-28.13**
郡部	(2.28)	(2.27)	(2.28)	(2.23)	(2.29)	(2.28)	(2.29)	(2.29)
R ²	0.09	0.10	0.09	0.12	0.09	0.09	0.09	0.09

注) 1992年。標本数は14,559。被説明変数は賃金所得の対数。括弧内の数値は標準誤差。定数項の結果は省略。

(a)は健康を外生変数とした場合, (b)は賃金所得と健康が内生変数である場合。

**は1%水準で有意。

*は5%水準で有意。

表A-3(C) 賃金所得関数の推定結果 (30~54歳・男性, 1995年)

	(%)							
	健康意識		仕事への影響		傷病		自覚症状	
	(a)	(b)	(a)	(b)	(a)	(b)	(a)	(b)
健康指標	-9.58** (2.26)	-12.80** (1.18)	-30.72** (4.57)	-28.28** (1.59)	-2.30 (1.42)	-3.44 (2.10)	-5.53** (1.18)	-6.70** (1.22)
年齢	8.77** (0.95)	8.48** (0.94)	8.87** (0.94)	10.17** (0.93)	8.78** (0.95)	8.77** (0.95)	8.60** (0.95)	7.95** (0.97)
年齢の自乗	-0.08** (0.01)	-0.08** (0.01)	-0.09** (0.01)	-0.10** (0.01)	-0.09** (0.01)	-0.08** (0.01)	-0.08** (0.01)	-0.08** (0.01)
都市規模	-5.08** (2.14)	-4.84* (2.13)	-5.08* (2.14)	-3.99** (2.08)	-5.12* (2.15)	-5.29** (2.16)	-5.22** (2.15)	-5.65** (2.15)
15万人以上								
都市規模	-6.84** (2.41)	-6.58** (2.40)	-6.84** (2.41)	-6.15** (2.34)	-6.85** (2.41)	-6.96** (2.41)	-6.90** (2.41)	-7.10** (2.41)
5~15万人								
都市規模	-27.66** (3.21)	-29.55** (3.16)	-27.52** (3.20)	-28.12** (3.08)	-27.55** (3.21)	-27.85** (3.22)	-27.68** (3.20)	-28.27** (3.19)
5万人未満								
都市規模	-25.23 (2.55)	-25.30** (2.51)	-25.12** (2.54)	-22.95** (2.45)	-25.28** (2.55)	-25.60** (2.56)	-25.40** (2.55)	-25.98** (2.55)
郡部								
R ²	0.08	0.09	0.08	0.11	0.08	0.08	0.08	0.08

注) 1995年。標本数は11,997。被説明変数は賃金所得の対数。括弧内の数値は標準誤差。定数項の結果は省略。

(a)は健康を外生変数とした場合, (b)は賃金所得と健康が内生変数である場合。

**は1%水準で有意。

*は5%水準で有意。

表A-4(A) 賃金所得関数の推定結果 (55歳以上・男性, 1989年)

	(%)							
	健康意識		仕事への影響		傷病		自覚症状	
	(a)	(b)	(a)	(b)	(a)	(b)	(a)	(b)
健康指標	-5.83** (1.75)	-6.62** (0.98)	-22.06** (3.34)	-21.33** (1.33)	-1.91 (1.32)	-6.00** (1.47)	-4.33** (1.09)	-4.18** (0.77)
年齢	11.82** (0.84)	11.84** (0.84)	11.86** (0.84)	12.88** (0.84)	11.83** (0.84)	11.88** (0.84)	11.77** (0.84)	11.64** (0.85)
年齢の自乗	-0.12** (0.01)	-0.12** (0.01)	-0.12** (0.01)	-0.13** (0.01)	-0.12** (0.01)	-0.12** (0.01)	-0.12** (0.01)	-0.12** (0.01)
都市規模	-6.50** (2.01)	-6.17** (2.01)	-6.48** (2.00)	-5.93** (1.97)	-6.51** (2.01)	-6.29** (2.02)	-6.47** (2.01)	-6.31** (2.01)
15万人以上								
都市規模	-12.51** (2.27)	-12.33** (2.27)	12.36** (2.26)	-10.53** (2.22)	-12.49** (2.27)	-12.10** (2.27)	-12.47** (2.27)	-12.34** (2.27)
5～15万人								
都市規模	-37.80** (3.64)	-37.83** (3.63)	-37.71** (3.65)	-37.34** (3.59)	-37.82** (3.65)	-38.32 (3.64)	-37.83** (3.65)	-37.97** (3.64)
5万人未満								
都市規模	-32.55** (2.31)	-32.82** (2.31)	-32.44** (2.30)	31.67** (2.26)	-32.51** (2.31)	-32.74** (2.31)	-32.56** (2.31)	-32.72** (2.31)
郡部								
R ²	0.09	0.10	0.10	0.11	0.09	0.09	0.09	0.10

注) 1989年。標本数は4,425。被説明変数は賃金所得の対数。括弧内の数値は標準誤差。定数項の結果は省略。

(a)は健康を外生変数とした場合, (b)は賃金所得と健康が内生変数である場合。

**は1%水準で有意。

*は5%水準で有意。

表A-4(B) 賃金所得関数の推定結果 (55歳以上・男性, 1992年)

	(%)							
	健康意識		仕事への影響		傷病		自覚症状	
	(a)	(b)	(a)	(b)	(a)	(b)	(a)	(b)
健康指標	-15.09**	-18.22**	-20.72**	-17.55**	5.30*	2.25	-3.88	-4.55*
	(3.60)	(2.51)	(6.02)	(3.26)	(2.37)	(3.53)	(2.46)	(2.14)
年齢	-38.69**	-39.01**	-38.72**	-37.95**	-38.83**	-38.86**	-38.58**	-38.68**
	(3.36)	(3.49)	(3.34)	(3.42)	(3.35)	(3.38)	(3.37)	(3.39)
年齢の自乗	0.25**	0.26**	0.25**	0.25**	0.25**	0.25**	0.25**	0.25**
	(0.03)	(0.03)	(0.03)	(0.03)	(0.03)	(0.03)	(0.03)	(0.03)
都市規模	-15.37**	-17.31**	-15.20**	-16.59**	-14.96**	-14.93**	-15.10**	-15.14**
15万人以上	(3.65)	(3.62)	(3.67)	(3.66)	(3.67)	(3.68)	(3.37)	(3.67)
都市規模	-25.47**	-25.90**	-25.50**	-26.54**	-25.31**	-25.28**	-25.50**	-25.63**
5～15万人	(3.88)	(3.85)	(3.89)	(3.88)	(3.89)	(3.90)	(3.90)	(3.89)
都市規模	-60.15**	-62.50**	-59.84**	-61.02**	-59.36**	-59.26**	-59.91**	-60.24**
5万人未満	(5.58)	(5.63)	(5.60)	(5.63)	(5.60)	(5.70)	(5.62)	(5.63)
都市規模	-53.36**	-54.96**	-53.19**	-54.29**	-52.89**	-52.85**	-53.14**	-53.34**
郡部	(4.18)	(4.14)	(4.18)	(4.18)	(4.18)	(4.21)	(4.19)	(4.19)
R ²	0.20	0.21	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20

注) 1992年。標本数は4,743。被説明変数は賃金所得の対数。括弧内の数値は標準誤差。定数項の結果は省略。

(a)は健康を外生変数とした場合, (b)は賃金所得と健康が内生変数である場合。

**は1%水準で有意。

*は5%水準で有意。

表A-4(C) 賃金所得関数の推定結果 (55歳以上・男性, 1995年)

(%)

	健康意識		仕事への影響		傷病		自覚症状	
	(a)	(b)	(a)	(b)	(a)	(b)	(a)	(b)
健康指標	-5.33 (4.18)	-3.61 (2.70)	-21.14** (7.06)	-17.53** (3.77)	2.84 (2.58)	11.05** (3.54)	-7.61** (2.64)	-3.30 (2.64)
年齢	-39.53** (3.48)	-39.59** (3.48)	-39.51** (3.45)	-39.38** (3.49)	-39.75** (3.48)	-42.00** (3.56)	-39.31** (3.45)	-39.26** (3.50)
年齢の自乗	0.25** (0.03)	0.25** (0.03)	0.25** (0.03)	0.25** (0.03)	0.25** (0.03)	0.27** (0.03)	0.25** (0.03)	0.25** (0.03)
都市規模	-6.94** (4.00)	-6.61 (4.00)	-7.27 (4.00)	-9.18 (3.98)	-7.11 (4.00)	-7.74 (3.99)	-7.03 (4.00)	-7.02 (4.00)
15万人以上								
都市規模	-16.18** (4.41)	-15.79** (4.43)	-16.22** (4.40)	-15.71** (4.38)	-16.47** (4.41)	-17.92** (4.41)	-16.29** (4.39)	-16.28** (4.41)
5～15万人								
都市規模	-43.04** (6.41)	-42.98** (6.42)	-43.28** (6.38)	-44.56** (6.42)	-43.02** (6.40)	-42.22** (6.39)	-43.30** (6.41)	-43.39** (6.42)
5万人未満								
都市規模	-46.72** (4.52)	-46.26** (4.53)	-46.99** (4.51)	-48.09** (4.51)	-46.84** (4.51)	-46.36** (4.50)	-46.97** (4.52)	-47.00** (4.52)
郡部								
R ²	0.23	0.23	0.23	0.23	0.23	0.23	0.23	0.23

注) 1995年。標本数は4,303。被説明変数は賃金所得の対数。括弧内の数値は標準誤差。定数項の結果は省略。

(a)は健康を外生変数とした場合, (b)は賃金所得と健康が内生変数である場合。

**は1%水準で有意。

*は5%水準で有意。

表A-5(A) 健康関数の推定結果 (30~54歳・男性, 1989年)

(%)

	健康意識		仕事への影響		傷病		自覚症状	
	(a)	(b)	(a)	(b)	(a)	(b)	(a)	(b)
賃金所得の対数	-0.01 (0.56)	0.21 (1.41)	-1.92** (0.33)	-1.85 (0.95)	3.25** (0.91)	4.51* (2.27)	-1.14 (0.93)	-1.59 (2.35)
年齢	-1.65 (1.21)	-1.55 (1.31)	1.37 (0.78)	1.49 (0.90)	1.62 (2.25)	2.15 (2.48)	-3.43 (2.24)	-3.59 (2.44)
年齢の自乗	0.01 (0.01)	0.01 (0.01)	-0.01 (0.01)	-0.01 (0.01)	-0.004 (0.02)	-0.01 (0.02)	0.03 (0.02)	0.03 (0.02)
有配偶	-1.24 (2.27)	-1.33 (2.31)	-1.69 (1.57)	-1.79 (1.67)	-3.36 (3.43)	-3.80 (3.52)	-9.88** (3.46)	-9.73** (3.56)
家族の健康指標 (傷病)	-2.79 (1.50)	-2.79 (1.50)	-0.98 (0.99)	-0.97 (1.01)	19.69** (2.45)	19.67** (2.44)	-10.85** (2.48)	-10.84** (2.48)
家族の健康指標 (自覚症状)	8.64** (1.37)	8.65** (1.37)	3.72** (0.95)	3.80** (0.98)	8.55** (2.33)	8.54** (2.32)	48.36** (2.40)	48.35** (2.40)
家族の健康指標 (健康意識)	9.76** (1.70)	9.77** (1.71)	2.51* (1.07)	2.56* (1.10)	-4.47 (3.10)	-4.44 (3.10)	-1.20 (2.95)	-1.22 (2.97)
日頃実行している事柄 規則正しく食事をとる	-2.59* (1.36)	-2.57* (1.36)	-1.02 (0.92)	-0.94 (0.95)	-0.62 (2.09)	-0.47 (2.10)	-1.17 (2.07)	-1.22 (2.09)
日頃実行している事柄 バランスのとれた食事をしている	-0.98 (1.09)	-1.02 (1.13)	1.01 (0.66)	1.00 (0.70)	3.39 (1.81)	3.14 (1.83)	0.46 (1.72)	0.55 (1.75)
日頃実行している事柄 うす味の物を食べている	3.31** (1.00)	3.31** (1.00)	1.88** (0.68)	1.93** (0.69)	10.03** (1.67)	10.03** (1.67)	1.12 (1.69)	1.11 (1.69)
日頃実行している事柄 腹八分目にしている	-0.12 (1.03)	-0.13 (1.03)	1.27 (0.68)	1.20 (0.70)	2.67 (1.64)	2.64 (1.64)	-0.28 (1.63)	-0.26 (1.63)
日頃実行している事柄 定期的に運動をする	-3.83** (1.06)	-3.83** (1.07)	-1.70* (0.70)	-1.75* (0.72)	-0.54 (1.74)	-0.59 (1.74)	-4.86** (1.75)	-4.85** (1.75)
日頃実行している事柄 気分転換の時間をとっている	-3.03** (1.12)	-3.07** (1.14)	-1.11 (0.71)	-1.16 (0.75)	-6.79** (1.78)	-7.03** (1.80)	-2.42 (1.81)	-2.34 (1.87)
日頃実行している事柄 睡眠時間を十分にとる	-2.95** (1.13)	-2.92** (1.14)	-0.49 (0.72)	-0.47 (0.74)	-0.97 (1.76)	-0.86 (1.77)	-3.56* (1.73)	-3.60* (1.73)
就床者	35.73** (3.04)	35.75** (3.05)	19.07** (2.48)	19.18** (2.51)	35.50** (2.93)	35.51** (2.92)	45.11** (2.81)	45.09** (2.82)
擬似R ²	0.14	0.14	0.12	0.11	0.08	0.08	0.15	0.15

注) 1989年。標本数は15,926。被説明変数は表頭の健康指標。数値は限界効果。括弧内の数値は標準誤差。定数項の結果は省略。

(a)は賃金所得を外生変数とした場合, (b)は賃金所得と健康が内生変数である場合。

**は1%水準で有意。

*は5%水準で有意。

表A-5(B) 健康関数の推定結果 (30~54歳・男性, 1992年)

(%)

	健康意識		仕事への影響		傷病		自覚症状	
	(a)	(b)	(a)	(b)	(a)	(b)	(a)	(b)
賃金所得の対数	-1.03** (0.34)	-0.60 (0.90)	-0.96** (0.16)	-1.49** (0.46)	0.25 (0.56)	2.69 (1.43)	-1.78** (0.65)	2.25 (1.69)
年齢	0.79* (0.36)	0.75* (0.37)	0.10 (0.19)	0.13 (0.20)	0.82 (0.56)	0.65 (0.57)	0.66 (0.64)	-0.38 (0.65)
年齢の自乗	-0.007 (0.004)	-0.007 (0.004)	1.98×10^{-4} (0.002)	3.86×10^{-4} (0.002)	1.43×10^{-4} (0.007)	0.001 (0.007)	-0.002 (0.008)	6.29×10^{-4} (0.008)
有配偶	0.53 (0.59)	0.38 (0.66)	-0.43 (0.37)	-0.29 (0.39)	0.44 (1.02)	-0.42 (1.15)	2.88* (1.11)	1.53 (1.28)
家族の健康指標 (傷病)	-3.57** (0.80)	-3.55** (0.80)	-0.21 (0.40)	1.91** (0.35)	8.71** (1.19)	8.84** (1.19)	-6.73** (1.43)	-6.49** (1.42)
家族の健康指標 (自覚症状)	5.03** (0.67)	5.03** (0.67)	1.90** (0.35)	1.11* (0.46)	6.03** (1.09)	6.10** (1.09)	36.31** (1.22)	36.40** (1.22)
家族の健康指標 (健康意識)	10.70** (0.86)	10.76** (0.88)	1.13* (0.44)	-0.19 (0.24)	0.42 (1.52)	0.68 (1.52)	-0.13 (1.75)	0.28 (1.76)
日頃実行している事柄 規則正しく食事をとる	-1.57** (0.44)	-1.55** (0.44)	-0.13 (0.23)	-0.02 (0.25)	1.01 (0.69)	1.17 (0.70)	-1.51 (0.81)	-1.24 (0.81)
日頃実行している事柄 バランスのとれた食事をしている	-1.03* (0.46)	-1.07* (0.47)	-0.06 (0.25)	0.12 (0.24)	-1.15 (0.73)	-1.36 (0.74)	-1.99* (0.82)	-2.34** (0.83)
日頃実行している事柄 うす味の物を食べている	0.35 (0.47)	0.35 (0.47)	0.10 (0.24)	0.46 (0.26)	5.24** (0.75)	5.21** (0.75)	-1.20 (0.81)	-1.24 (0.81)
日頃実行している事柄 腹八分目している	-0.45 (0.47)	-0.44 (0.47)	0.48 (0.26)	0.46 (0.26)	-0.38 (0.67)	-0.33 (0.67)	-0.04 (0.81)	0.05 (0.81)
日頃実行している事柄 定期的に運動をする	-2.50** (0.42)	-2.54** (0.43)	-0.52* (0.23)	-0.50* (0.24)	-1.22 (0.68)	-1.37* (0.69)	-3.50** (0.78)	-3.73** (0.78)
日頃実行している事柄 気分転換の時間をとっている	-1.64** (0.44)	-1.68** (0.44)	-0.41 (0.23)	-0.39 (0.24)	-2.41** (0.68)	-2.63** (0.69)	-2.18** (0.78)	-2.55** (0.79)
日頃実行している事柄 睡眠時間を十分にとる	1.82** (0.41)	-1.78** (0.42)	0.07 (0.22)	-0.07 (0.23)	-1.48* (0.67)	-1.29 (0.67)	-3.51** (0.74)	-3.19** (0.76)
就床者	31.96** (1.91)	32.10** (1.94)	14.34** (1.42)	14.05** (1.43)	33.00** (2.00)	33.46** (2.00)	44.10** (2.06)	44.67** (2.07)
擬似R ²	0.16	0.16	0.14	0.14	0.08	0.08	0.14	0.14

注) 1992年。標本数は14,559。被説明変数は表頭健康指標。数値は限界効果。括弧内の数値は標準誤差。定数項の結果は省略。

(a)は賃金所得を外生変数とした場合, (b)は賃金所得と健康が内生変数である場合。

**は1%水準で有意。

*は5%水準で有意。

表A-5(C) 健康関数の推定結果 (30~54歳・男性, 1995年)

(%)

	健康意識		仕事への影響		傷病		自覚症状	
	(a)	(b)	(a)	(b)	(a)	(b)	(a)	(b)
賃金所得の対数	0.71 (0.37)	-1.01 (0.98)	-0.97** (0.15)	-1.16** (0.49)	0.63 (0.71)	9.00** (1.82)	-1.89* (0.73)	2.27 (1.93)
年齢	-0.15 (0.37)	-0.12 (0.37)	0.33 (0.19)	0.37 (0.20)	0.37 (0.66)	-0.16 (0.67)	2.58** (0.72)	-2.85** (0.72)
年齢の自乗	0.003 (0.004)	0.003 (0.004)	-0.003 (0.002)	-0.004 (0.002)	0.004 (0.008)	0.01 (0.01)	0.03** (0.01)	0.04** (0.01)
有配偶	0.02 (0.58)	0.11 (0.69)	-0.23 (0.31)	-0.23 (0.38)	-0.22 (1.11)	-3.41* (1.39)	1.04 (1.19)	-0.47 (1.43)
家族の健康指標 (傷病)	-2.01** (0.78)	-2.04** (0.78)	0.36 (0.36)	(0.78)	9.51** (1.29)	10.10** (1.30)	-5.17** (1.48)	-4.89** (1.49)
家族の健康指標 (自覚症状)	3.57** (0.65)	3.58** (0.65)	1.27** (0.33)	3.58** (0.65)	6.28** (1.19)	6.18** (1.19)	31.51** (1.30)	31.45** (1.30)
家族の健康指標 (健康意識)	10.28** (0.86)	10.26** (0.87)	0.96** (0.43)	10.26** (0.87)	-0.17 (1.80)	0.22 (1.80)	2.67 (1.96)	2.88 (1.97)
日頃実行している事柄 規則正しく食事をとる	-1.45** (0.43)	-1.46** (0.43)	-0.42 (0.24)	-1.46** (0.43)	2.45** (0.77)	2.81** (0.77)	-0.56 (0.86)	-0.39 (0.87)
日頃実行している事柄 バランスのとれた食事をしている	-1.63** (0.44)	-1.61** (0.45)	-0.39 (0.25)	-1.61** (0.45)	-1.22 (0.84)	-1.75 (0.83)	-3.27** (0.91)	-3.53** (0.91)
日頃実行している事柄 うす味の物を食べている	0.62 (0.52)	0.65 (0.52)	0.55** (0.27)	0.65 (0.52)	3.77** (0.93)	3.65** (0.93)	0.89 (1.01)	0.84 (1.01)
日頃実行している事柄 腹八分目になっている	-0.4 (0.49)	-0.41 (0.49)	-0.07 (0.24)	-0.41 (0.49)	1.94* (0.84)	2.40* (0.85)	-0.14 (0.95)	0.08 (0.95)
日頃実行している事柄 定期的に運動をする	-1.91** (0.44)	-1.89** (0.45)	-0.47 (0.23)	-1.89** (0.45)	-1.45 (0.83)	-2.14* (0.82)	-2.46** (0.92)	-2.80** (0.92)
日頃実行している事柄 気分転換の時間をとっている	-1.74** (0.44)	-1.74** (0.44)	-0.24 (0.23)	-1.74** (0.44)	-1.69* (0.79)	-2.13** (0.79)	-3.36** (0.88)	-3.56** (0.88)
日頃実行している事柄 睡眠時間を十分にとる	-1.49** (0.42)	-1.51** (0.42)	0.09 (0.22)	-1.51** (0.42)	0.15 (0.75)	0.71 (0.76)	-2.82** (0.85)	-2.56** (0.85)
就床者	26.78** (1.93)	26.66** (1.96)	11.49** (1.33)	26.66** (1.96)	24.96** (2.06)	26.63** (2.11)	33.87** (2.18)	34.53** (2.18)
擬似R ²	0.14	0.14	0.14	0.13	0.06	0.06	0.10	0.10

注) 1995年。標本数は11,997。被説明変数は表頭の健康指標。数値は限界効果。括弧内の数値は標準誤差。定数項の結果は省略。

(a)は賃金所得を外生変数とした場合, (b)は賃金所得と健康が内生変数である場合。

**は1%水準で有意。

*は5%水準で有意。

表A-6(A) 健康関数の推定結果 (55歳以上・男性, 1989年)

(%)

	健康意識		仕事への影響		傷病		自覚症状	
	(a)	(b)	(a)	(b)	(a)	(b)	(a)	(b)
賃金所得の対数	-0.17 (0.36)	0.85 (0.79)	-0.83** (0.15)	-0.99* (0.40)	0.37 (0.52)	1.92 (1.16)	-0.78 (0.66)	1.65 (1.50)
年齢	0.14 (0.37)	0.04 (0.38)	0.41* (0.20)	0.45* (0.20)	0.54 (0.54)	0.39 (0.55)	-0.67 (0.66)	-0.91 (0.67)
年齢の自乗	7.23×10^{-4} (0.004)	0.002 (0.004)	-0.004 (0.002)	-0.004 (0.002)	0.003 (0.006)	0.004 (0.006)	0.01 (0.007)	0.02* (0.008)
有配偶	1.94** (0.60)	1.64* (0.67)	-0.09 (0.36)	-0.07 (0.39)	3.31** (0.90)	2.84** (0.98)	5.76** (1.17)	5.01** (1.28)
家族の健康指標 (傷病)	-3.81** (0.83)	-3.79** (0.83)	-0.55 (0.42)	-0.52 (0.42)	9.38** (1.08)	9.39** (1.08)	-8.87** (1.49)	-8.82** (1.49)
家族の健康指標 (自覚症状)	6.51** (0.67)	6.52** (0.67)	2.28** (0.34)	2.29** (0.34)	7.78** (0.97)	7.80** (0.97)	43.93** (1.36)	43.95** (1.36)
家族の健康指標 (健康意識)	11.51** (0.87)	11.58** (0.87)	1.90** (0.43)	1.91** (0.44)	-0.10 (1.42)	0.05 (1.42)	2.79 (1.80)	3.02 (1.80)
日頃実行している事柄 規則正しく食事をとる	-1.66** (0.44)	-1.58** (0.44)	-0.29 (0.24)	-0.31 (0.25)	1.42* (0.63)	1.53* (0.63)	-2.15** (0.80)	-1.97* (0.81)
日頃実行している事柄 バランスのとれた食事をしている	-0.79 (0.45)	-0.89 (0.45)	0.07 (0.24)	0.07 (0.25)	-0.31 (0.65)	-0.46 (0.65)	-0.96 (0.83)	-1.20 (0.84)
日頃実行している事柄 うす味の物を食べている	0.31 (0.46)	0.29 (0.46)	0.12 (0.24)	0.13 (0.24)	4.42** (0.66)	4.37** (0.66)	-0.80 (0.81)	-0.87 (0.82)
日頃実行している事柄 腹八分目にしている	-0.57 (0.44)	-0.56 (0.44)	0.01 (0.24)	4.70×10^{-4} (0.24)	-0.03 (0.63)	-0.007 (0.63)	-1.22 (0.80)	-1.19 (0.80)
日頃実行している事柄 定期的に運動をする	-2.60** (0.42)	-2.63** (0.42)	-0.60* (0.23)	-0.59* (0.23)	-2.18** (0.66)	-2.24** (0.66)	-3.59** (0.81)	-3.68** (0.82)
日頃実行している事柄 気分転換の時間をとっている	-1.59** (0.41)	-1.70** (0.41)	0.15 (0.24)	0.14 (0.25)	-2.05** (0.61)	-2.22** (0.62)	-2.61** (0.79)	-2.88** (0.80)
日頃実行している事柄 睡眠時間を十分にとる	-2.13** (0.42)	-2.04** (0.42)	-0.02 (0.22)	-0.02 (0.23)	-1.54** (0.60)	-1.39* (0.61)	-3.97** (0.76)	-3.75** (0.77)
就床者	29.58** (1.80)	29.87** (1.81)	15.70** (1.36)	15.73** (1.37)	29.81** (1.89)	30.08** (1.91)	47.48** (1.87)	47.74** (1.88)
擬似R ²	0.15	0.15	0.16	0.15	0.09	0.09	0.16	0.16

注) 1989年。標本数は4,425。被説明変数は表頭の健康指標。数値は限界効果。括弧内の数値は標準誤差。定数項の結果は省略。

(a)は賃金所得を外生変数とした場合、(b)は賃金所得と健康が内生変数である場合。

**は1%水準で有意。

*は5%水準で有意。

表A-6(B) 健康関数の推定結果 (55歳以上・男性, 1992年)

(%)

	健康意識		仕事への影響		傷病		自覚症状	
	(a)	(b)	(a)	(b)	(a)	(b)	(a)	(b)
賃金所得の対数	-1.01*	-0.62	-0.76**	-0.26	2.62**	4.10	-0.46	2.03
	(0.50)	(1.34)	(0.28)	(0.78)	(0.91)	(2.29)	(0.89)	(2.29)
年齢	0.15	0.34	0.16	0.39	5.98**	6.58**	-0.03	1.02
	(1.11)	(1.23)	(0.56)	(0.65)	(1.98)	(2.15)	(1.94)	(2.11)
年齢の自乗	-6.27 × 10 ⁻⁴	-0.002	-1.83 × 10 ⁻⁴	-0.002	-0.03*	-0.04*	0.003	-0.004
	(0.008)	(0.01)	(0.004)	(0.005)	(0.02)	(0.02)	(0.01)	(0.02)
有配偶	1.13	1.07	-2.03	-2.12	-1.68	-1.98	-1.51	-2.05
	(1.81)	(1.84)	(1.40)	(1.46)	(3.45)	(3.47)	(3.33)	(3.36)
家族の健康指標 (傷病)	4.91**	-4.93**	0.95	0.92	18.15**	18.07**	-6.77**	-6.86**
	(1.37)	(1.37)	(0.75)	(0.76)	(2.25)	(2.26)	(2.24)	(2.24)
家族の健康指標 (自覚症状)	7.70**	7.69**	2.47**	2.48**	8.58**	8.55**	43.23**	43.16**
	(1.24)	(1.23)	(0.68)	(0.69)	(2.23)	(2.23)	(2.17)	(2.17)
家族の健康指標 (健康意識)	8.90**	8.96**	1.82*	1.89*	-7.33*	-7.22*	-4.31	-4.09
	(1.62)	(1.63)	(0.87)	(0.88)	(3.17)	(3.18)	(2.94)	(2.94)
日頃実行している事柄 規則正しく食事をとる	-1.92	-1.93	-0.08	-0.07	5.07*	5.12*	1.58	1.66
	(1.19)	(1.19)	(0.68)	(0.68)	(2.03)	(2.03)	(1.96)	(1.96)
日頃実行している事柄 バランスのとれた食事をしている	-3.90**	-3.95**	-0.20	-0.29	-0.03	-0.30	-4.22*	-4.67**
	(1.09)	(1.11)	(0.65)	(0.66)	(1.75)	(1.80)	(1.73)	(1.77)
日頃実行している事柄 うす味の物を食べている	1.09	1.08	0.92	0.91	9.01**	8.98**	0.47	0.43
	(0.99)	(0.99)	(0.56)	(0.56)	(1.63)	(1.62)	(1.63)	(1.63)
日頃実行している事柄 腹八分目している	1.25	1.27	1.08	1.09	-1.97	-1.86	-1.75	-1.58
	(0.97)	(0.96)	(0.55)	(0.55)	(1.64)	(1.64)	(1.63)	(1.63)
日頃実行している事柄 定期的に運動をする	-3.07**	-3.09**	-1.56**	-1.60**	-4.60**	-4.63**	-3.31	-3.39
	(1.01)	(1.01)	(0.57)	(0.57)	(1.73)	(1.73)	(1.73)	(1.73)
日頃実行している事柄 気分転換の時間をとっている	-1.05	-1.11	-0.10	-0.14	0.09	0.14	0.74	0.42
	(1.07)	(1.09)	(0.62)	(0.63)	(1.77)	(1.80)	(1.73)	(1.75)
日頃実行している事柄 睡眠時間を十分にとる	-1.52	-1.48	-0.27	-0.22	0.90	1.01	-3.04	-2.85
	(1.04)	(1.05)	(0.62)	(0.63)	(1.79)	(1.79)	(1.75)	(1.75)
就床者	41.17**	41.25**	17.50**	17.77**	36.18**	36.28**	44.41**	44.65**
	(3.23)	(3.25)	(2.51)	(2.56)	(2.73)	(2.73)	(2.80)	(2.80)
擬似R ²	0.15	0.15	0.14	0.14	0.07	0.07	0.13	0.13

注) 1992年。標本数は4,743。被説明変数は表頭の健康指標。数値は限界効果。括弧内の数値は標準誤差。定数項の結果は省略。

(a)は賃金所得を外生変数とした場合、(b)は賃金所得と健康が内生変数である場合。

**は1%水準で有意。

*は5%水準で有意。

表A-6(C) 健康関数の推定結果 (55歳以上・男性, 1995年)

(%)

	健康意識		仕事への影響		傷病		自覚症状	
	(a)	(b)	(a)	(b)	(a)	(b)	(a)	(b)
賃金所得の対数	-0.54 (0.52)	-0.58 (1.35)	-0.88* (0.31)	-0.68 (0.84)	1.29 (0.98)	6.53* (2.57)	-1.93* (0.92)	2.99 (2.56)
年齢	-0.26 (0.90)	-0.27 (1.05)	-0.29 (0.57)	-0.23 (0.65)	8.00** (0.19)	10.12** (2.15)	0.93 (1.77)	2.91 (2.08)
年齢の自乗	0.003 (0.007)	0.003 (0.008)	0.002 (0.004)	0.002 (0.005)	-0.05** (0.01)	-0.07* (0.02)	-0.003 (0.013)	-0.02 (0.02)
有配偶	-0.92 (1.73)	-0.93 (1.76)	-0.13 (1.03)	-0.17 (1.06)	1.30 (3.16)	-0.03 (3.24)	-1.19 (3.09)	-2.46 (3.19)
家族の健康指標 (傷病)	-2.03 (1.29)	-2.05 (1.29)	-1.55 (0.82)	-1.59 (0.83)	18.50** (2.30)	18.58** (2.30)	-8.58** (2.34)	-8.50** (2.34)
家族の健康指標 (自覚症状)	6.17** (1.23)	6.18** (1.23)	2.87** (0.79)	2.91** (0.80)	1.70 (2.32)	1.65 (2.32)	37.81** (2.34)	37.76** (2.34)
家族の健康指標 (健康意識)	6.96** (1.56)	6.96** (1.57)	1.85** (0.93)	1.93** (0.95)	-4.91 (3.17)	-4.29 (3.18)	1.12 (3.01)	1.68 (3.03)
日頃実行している事柄 規則正しく食事をとる	-2.59* (1.19)	-2.60* (1.19)	0.26 (0.66)	0.26 (0.66)	2.11 (2.02)	2.44 (2.02)	-1.80 (1.94)	-1.49 (1.94)
日頃実行している事柄 バランスのとれた食事をしている	-0.32 (1.02)	-0.31 (1.03)	-0.74 (0.63)	-0.77 (0.65)	1.43 (1.83)	0.64 (1.86)	-4.19* (1.80)	-4.93** (1.84)
日頃実行している事柄 うす味の物を食べている	2.19* (1.01)	2.19* (1.01)	0.47 (0.64)	0.46 (0.65)	12.09** (1.68)	11.41** (1.68)	1.07 (1.68)	0.92 (1.67)
日頃実行している事柄 腹八分目にして	0.003 (1.037)	-0.01 (1.04)	0.97 (0.65)	0.99 (0.66)	-3.27 (1.70)	-2.90 (1.70)	0.63 (1.68)	0.96 (1.67)
日頃実行している事柄 定期的に運動をする	-2.71** (1.00)	-2.72** (1.00)	-1.70** (0.60)	-1.72** (0.61)	-2.98 (1.82)	-3.03 (1.82)	-3.96* (1.86)	-4.02* (1.86)
日頃実行している事柄 気分転換の時間をとっている	-1.97 (1.04)	-1.96 (1.04)	0.19 (0.70)	0.17 (0.71)	-1.50 (1.90)	-1.97 (1.91)	-1.58 (1.78)	-2.04 (1.80)
日頃実行している事柄 睡眠時間を十分にとる	-4.81** (1.07)	-4.83** (1.07)	-1.44* (0.66)	-1.44* (0.67)	-4.47** (1.71)	-4.05* (1.72)	-4.14* (1.73)	-3.77* (1.74)
就床者	39.26** (3.15)	39.26** (3.15)	13.77** (2.35)	13.84** (2.34)	32.31** (2.82)	32.43** (2.82)	35.85** (3.17)	35.97** (3.17)
擬似R ²	0.16	0.16	0.10	0.09	0.06	0.07	0.11	0.11

注) 1995年。標本数は4,303。被説明変数は表頭の健康指標。数値は限界効果。括弧内の数値は標準誤差。定数項の結果は省略。

(a)は賃金所得を外生変数とした場合、(b)は賃金所得と健康が内生変数である場合。

**は1%水準で有意。

*は5%水準で有意。

表A-7(A) 就業関数の推定結果 (30～54歳・男性, 1989年)

(%)

	健康意識		仕事への影響		傷病		自覚症状	
	(a)	(b)	(a)	(b)	(a)	(b)	(a)	(b)
健康指標	-3.75** (1.31)	-0.85 (0.81)	-1.18 (1.62)	-1.29 (1.05)	-1.42 (0.84)	-1.80 (1.00)	-1.11 (0.81)	-1.19 (0.64)
賃金所得の対数	3.93** (0.45)	0.14 (1.96)	3.92** (0.45)	0.28 (1.95)	3.97** (0.45)	0.20 (1.96)	3.93** (0.45)	-0.17 (1.97)
年齢	-3.79** (0.93)	-5.09** (1.25)	-3.62** (0.95)	-4.47** (1.26)	-3.62** (0.94)	-5.00** (1.24)	-3.68** (0.94)	-5.21** (1.24)
年齢の自乗	0.02** (0.01)	0.03** (0.01)	0.02** (0.01)	0.03** (0.01)	0.02** (0.01)	0.03** (0.01)	0.02** (0.01)	0.03** (0.01)
有配偶	1.41 (1.74)	2.73 (2.08)	1.41 (1.75)	2.51 (2.04)	1.45 (1.75)	2.87 (2.11)	1.38 (1.74)	2.64 (2.07)
非労働所得の対数	-0.15 (0.17)	-0.47* (0.21)	-0.16 (0.17)	-0.46* (0.21)	-0.16 (0.17)	-0.44* (0.21)	-0.17 (0.17)	-0.49* (0.21)
その他世帯員の所得の対数	0.26* (0.13)	0.09 (0.15)	0.25* (0.13)	0.11 (0.15)	0.26* (0.13)	0.09 (0.15)	0.25* (0.13)	0.08 (0.15)
金融資産の対数	-0.11 (0.18)	0.39 (0.28)	-0.09 (0.18)	0.33 (0.29)	-0.07 (0.18)	0.45 (0.29)	-0.08 (0.18)	0.43 (0.28)
負債の対数	0.38** (0.12)	0.44** (0.12)	0.37** (0.12)	0.43** (0.12)	0.37** (0.12)	0.44** (0.12)	0.37** (0.12)	0.44** (0.12)
擬似R ²	0.15	0.11	0.14	0.11	0.14	0.11	0.14	0.11

注) 1989年。標本数は15,926。被説明変数は就業。数値は限界効果。括弧内の数値は標準誤差。定数項の結果は省略。

(a)は賃金所得と健康を外生変数とした場合, (b)は賃金所得と健康が内生変数である場合。

**は1%水準で有意。

表A-7(B) 就業関数の推定結果 (30～54歳・男性, 1992年)

(%)

	健康意識		仕事への影響		傷病		自覚症状	
	(a)	(b)	(a)	(b)	(a)	(b)	(a)	(b)
健康指標	-1.30** (0.38)	-0.62** (0.14)	-1.82** (0.69)	-0.96** (0.19)	-0.59** (0.23)	-1.06** (0.20)	-0.47* (0.19)	-0.52** (0.13)
賃金所得の対数	0.69** (0.10)	-0.25 (0.62)	0.69** (0.11)	-0.88 (0.66)	0.72** (0.10)	-0.51 (0.61)	0.72** (0.11)	-0.12 (0.62)
年齢	0.22 (0.12)	0.30* (0.14)	0.21 (0.13)	0.28* (0.14)	0.21 (0.12)	0.29* (0.14)	0.21 (0.13)	0.25 (0.14)
年齢の自乗	-0.003* (0.001)	-0.004* (0.002)	-0.003* (0.001)	-0.003* (0.002)	-0.003 (0.001)	-0.003* (0.002)	-0.003* (0.001)	-0.003* (0.002)
有配偶	1.24** (0.35)	1.98** (0.60)	1.20** (0.34)	2.04** (0.61)	1.22** (0.35)	2.19** (0.63)	1.25** (0.35)	2.05** (0.62)
非労働所得の対数	-0.10* (0.04)	-0.12** (0.04)	-0.10* (0.04)	-0.09* (0.04)	-0.10* (0.04)	-0.10* (0.04)	-0.11** (0.04)	-0.14** (0.04)
その他世帯員の所得の対数	0.06** (0.02)	0.04 (0.03)	0.07** (0.02)	0.01 (0.03)	0.06** (0.02)	0.04 (0.03)	0.06** (0.02)	0.04 (0.03)
金融資産の対数	0.02 (0.03)	0.09 (0.05)	0.02 (0.03)	0.11* (0.05)	0.02 (0.03)	0.13* (0.05)	0.02 (0.03)	0.09 (0.05)
負債の対数	0.03 (0.02)	0.05* (0.02)	0.03 (0.02)	0.07** (0.02)	0.03 (0.02)	0.06** (0.02)	0.03 (0.02)	0.05* (0.02)
擬似R ²	0.09	0.06	0.09	0.07	0.08	0.09	0.08	0.06

注) 1992年。標本数は14,559。被説明変数は就業。数値は限界効果。括弧内の数値は標準誤差。定数項の結果は省略。

(a)は賃金所得と健康を外生変数とした場合, (b)は賃金所得と健康が内生変数である場合。

**は1%水準で有意。

表A-7(C) 就業関数の推定結果 (30~54歳・男性, 1995年)

(%)

	健康意識		仕事への影響		傷病		自覚症状	
	(a)	(b)	(a)	(b)	(a)	(b)	(a)	(b)
健康指標	-2.00**	-0.69**	-2.03**	-1.07**	-0.45**	-0.99**	-0.24**	-0.55**
	(0.59)	(0.22)	(0.93)	(0.29)	(0.29)	(0.36)	(0.27)	(0.23)
賃金所得の対数	1.20**	0.25	1.22**	-1.00	1.25**	-0.31	1.26**	0.07
	(0.17)	(1.32)	(0.17)	(1.39)	(0.17)	(1.33)	(0.17)	(1.31)
年齢	-0.12	-0.12	-0.10	0.01	-0.12	-0.1	-0.12	-0.19
	(0.19)	(0.20)	(0.19)	(0.20)	(0.19)	(0.20)	(0.19)	(0.20)
年齢の自乗	7x10 ⁻⁴	8x10 ⁻⁴	5x10 ⁻⁴	-5x10 ⁻⁴	6x10 ⁻⁴	9x10 ⁻⁴	7x10 ⁻⁴	2x10 ⁻³
	(0.002)	(0.002)	(0.002)	(0.002)	(0.002)	(0.002)	(0.002)	(0.002)
有配偶	1.44**	2.53**	1.45**	2.63**	1.47**	2.57**	1.48**	2.46**
	(0.36)	(0.93)	(0.37)	(0.95)	(0.37)	(0.94)	(0.37)	(0.92)
非労働所得の対数	-0.05	-0.12	-0.06	-0.08	-0.06	-0.11	-0.06	-0.11
	(0.07)	(0.07)	(0.07)	(0.07)	(0.07)	(0.07)	(0.07)	(0.07)
その他世帯員の所得の対数	0.04	-0.01	0.04	-0.01	0.04	0.001	0.04	0.01
	(0.04)	(0.05)	(0.04)	(0.05)	(0.04)	(0.05)	(0.04)	(0.05)
金融資産の対数	0.04	0.17	0.04	0.21	0.06	0.22	0.05	0.16
	(0.05)	(0.12)	(0.05)	(0.12)	(0.05)	(0.12)	(0.05)	(0.12)
負債の対数	0.03	0.07	0.02	0.07	0.03	0.07	0.03	0.06
	(0.03)	(0.05)	(0.03)	(0.05)	(0.03)	(0.05)	(0.03)	(0.05)
擬似R ²	0.07	0.04	0.07	0.04	0.07	0.02	0.06	0.04

注) 1995年。標本数は11,997。被説明変数は就業。数値は限界効果。括弧内の数値は標準誤差。定数項の結果は省略。

(a)は賃金所得と健康を外生変数とした場合, (b)は賃金所得と健康が内生変数である場合。

**は1%水準で有意。

表A-8(A) 就業関数の推定結果 (55歳以上・男性, 1989年)

(%)

	健康意識		仕事への影響		傷病		自覚症状	
	(a)	(b)	(a)	(b)	(a)	(b)	(a)	(b)
健康指標	-0.57** (0.21)	-0.32** (0.07)	-1.21** (0.46)	-0.37** (0.08)	-0.28** (0.13)	-0.36** (0.10)	-0.31** (0.10)	-0.19** (0.06)
賃金所得の対数	0.33** (0.06)	0.31 (0.34)	0.32** (0.06)	0.30 (0.34)	0.35** (0.06)	0.48 (0.33)	0.33** (0.06)	0.49 (0.35)
年齢	-0.02 (0.06)	-0.03 (0.07)	-0.01 (0.06)	0.004 (0.07)	-0.02 (0.06)	-0.03 (0.07)	-0.02 (0.06)	-0.04 (0.08)
年齢の自乗	1.23×10^{-4} (7.01×10^{-4})	2.13×10^{-4} (8.41×10^{-4})	5.41×10^{-5} (7.07×10^{-4})	9.83×10^{-5} (8.58×10^{-4})	1.42×10^{-4} (7.17×10^{-4})	3.00×10^{-4} (8.74×10^{-4})	1.77×10^{-4} (6.96×10^{-4})	3.43×10^{-4} (8.79×10^{-4})
有配偶	0.56** (0.19)	0.82** (0.38)	0.52** (0.18)	0.67** (0.33)	0.56** (0.19)	0.77** (0.36)	0.57** (0.19)	0.74** (0.36)
非労働所得の対数	-0.04* (0.02)	-0.05* (0.02)	-0.04 (0.02)	-0.05* (0.02)	-0.03 (0.02)	-0.05* (0.02)	-0.04* (0.02)	-0.06* (0.02)
その他世帯員の所得の対数	2.39×10^{-5} (0.01)	-0.01 (0.02)	0.001 (0.01)	7.34×10^{-4} (0.02)	0.002 (0.01)	0.01 (0.02)	8.18×10^{-4} (0.01)	0.003 (0.02)
金融資産の対数	0.02 (0.01)	0.03 (0.03)	0.02 (0.01)	0.03 (0.03)	0.03* (0.01)	0.03 (0.03)	0.02 (0.01)	0.02 (0.03)
負債の対数	0.01 (0.01)	0.01 (0.01)	0.01 (0.01)	0.01 (0.01)	0.01 (0.01)	0.01 (0.01)	0.01 (0.01)	0.01 (0.01)
擬似R ²	0.15	0.10	0.16	0.10	0.15	0.09	0.15	0.09

注) 1989年。標本数は4,425。被説明変数は就業。数値は限界効果。括弧内の数値は標準誤差。定数項の結果は省略。

(a)は賃金所得と健康を外生変数とした場合, (b)は賃金所得と健康が内生変数である場合。

**は1%水準で有意。

*は5%水準で有意。

表A-8(B) 就業関数の推定結果 (55歳以上・男性, 1992年)

(%)

	健康意識		仕事への影響		傷病		自覚症状	
	(a)	(b)	(a)	(b)	(a)	(b)	(a)	(b)
健康指標	-5.92** (1.46)	-1.43 (0.80)	-7.95** (2.40)	-2.29* (1.01)	2.58** (0.83)	-2.64* (1.10)	-3.78** (0.88)	-1.06 (0.71)
賃金所得の対数	4.29** (0.46)	-2.79 (2.08)	4.32** (0.45)	-2.65 (2.04)	4.45** (0.46)	-1.98 (2.02)	4.34** (0.46)	-2.36 (2.04)
年齢	-3.63** (0.93)	-6.09** (1.27)	-3.57** (0.94)	-5.81** (1.25)	-3.43** (0.94)	-5.57** (1.25)	-3.56** (0.93)	-5.98** (1.26)
年齢の自乗	0.02** (0.01)	0.04** (0.01)	0.02** (0.01)	0.37** (0.01)	0.02** (0.01)	0.04** (0.01)	0.02** (0.01)	0.04** (0.01)
有配偶	3.48* (1.82)	5.80** (2.24)	3.29* (1.82)	5.15** (2.17)	3.53* (1.84)	5.86** (2.25)	3.55* (1.84)	5.72** (2.24)
非労働所得の対数	-0.08 (0.17)	-0.56** (0.20)	-0.09 (0.17)	-0.58** (0.20)	-0.06 (0.17)	-0.47* (0.20)	-0.08 (0.17)	-0.53** (0.20)
その他世帯員の所得の対数	0.35** (0.12)	0.09 (0.15)	0.36** (0.12)	0.13 (0.15)	0.35** (0.12)	0.10 (0.15)	0.35** (0.12)	0.10 (0.15)
金融資産の対数	-0.44* (0.18)	0.45 (0.29)	-0.40* (0.18)	0.44 (0.29)	-0.38* (0.18)	0.47 (0.29)	-0.39* (0.18)	0.45 (0.30)
負債の対数	0.39** (0.11)	0.49** (0.12)	0.40** (0.12)	0.50** (0.12)	0.38** (0.11)	0.46** (0.12)	0.37** (0.11)	0.48** (0.12)
擬似R ²	0.14	0.10	0.14	0.10	0.14	0.10	0.14	0.10

注) 1992年。標本数は4,743。被説明変数は就業。数値は限界効果。括弧内の数値は標準誤差。定数項の結果は省略。

(a)は賃金所得と健康を外生変数とした場合, (b)は賃金所得と健康が内生変数である場合。

**は1%水準で有意。

*は5%水準で有意。

表A-8(C) 就業関数の推定結果（55歳以上・男性，1995年）

(%)

	健康意識		仕事への影響		傷病		自覚症状	
	(a)	(b)	(a)	(b)	(a)	(b)	(a)	(b)
健康指標	-4.84** (1.67)	-1.35 (0.95)	-5.95* (2.75)	-2.11 (1.37)	-1.62 (0.98)	-1.28 (1.42)	-1.44 (0.97)	-0.21 (0.99)
賃金所得の対数	5.42** (0.55)	-5.15 (2.92)	5.39** (0.55)	-4.91 (2.91)	5.45** (0.55)	-4.52 (2.94)	5.43** (0.55)	-4.90 (2.91)
年齢	-5.22** (1.41)	-8.21** (1.56)	-5.20** (1.40)	-8.11** (1.55)	-5.13** (1.41)	-7.83** (1.59)	-5.19** (1.41)	-8.13** (1.55)
年齢の自乗	0.03** (0.01)	0.05** (0.01)	0.03** (0.01)	0.05** (0.01)	0.03** (0.01)	0.05** (0.01)	0.03** (0.01)	0.05** (0.01)
有配偶	-3.12 (1.47)	-1.24 (1.82)	-3.08 (1.47)	-1.28 (1.82)	-2.99 (1.48)	-1.12 (1.84)	-3.01 (1.48)	-1.14 (1.84)
非労働所得の対数	-0.26 (0.21)	-1.07** (0.28)	-0.27 (0.21)	-1.05** (0.28)	-0.24 (0.21)	-0.98** (0.28)	-0.26 (0.21)	-1.04** (0.28)
その他世帯員の所得の対数	0.34* (0.15)	0.13 (0.16)	0.34* (0.15)	0.15 (0.17)	0.34* (0.15)	0.14 (0.17)	0.33* (0.15)	0.12 (0.16)
金融資産の対数	-0.41 (0.22)	0.75* (0.38)	-0.39 (0.22)	0.67 (0.38)	-0.35 (0.22)	0.75* (0.38)	-0.38 (0.22)	0.74 (0.38)
負債の対数	0.57** (0.15)	0.79** (0.16)	0.58** (0.15)	0.78** (0.16)	0.58** (0.15)	0.79** (0.16)	0.58** (0.15)	0.80** (0.16)
擬似R ²	0.13	0.10	0.13	0.10	0.13	0.10	0.13	0.10

注) 1995年。標本数は4,303。被説明変数は就業。数値は限界効果。括弧内の数値は標準誤差。定数項の結果は省略。

(a)は賃金所得と健康を外生変数とした場合，(b)は賃金所得と健康が内生変数である場合。

**は1%水準で有意。

*は5%水準で有意。

表A-9 (A) 健康指標と賃金所得 (1989年)

(万円)

年齢階層	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-74	75-79	80-
健康意識											
良い	432	496	557	617	611	543	387	310	302	329	281
悪い	406	467	526	583	520	505	315	269	279	270	255
変化分 (%)	6.0	5.8	5.6	5.5	14.9	7.0	18.6	13.2	7.6	17.9	9.3
仕事への影響											
なし	431	495	557	617	609	542	381	309	300	326	278
あり	397	445	462	524	447	459	298	233	289	265	262
変化分 (%)	7.9	10.1	17.1	15.1	26.6	15.3	21.8	24.6	3.7	18.7	5.8
傷病											
なし	431	494	554	619	605	525	376	305	282	387	221
あり	422	492	557	592	598	567	379	305	310	281	305
変化分 (%)	2.1	0.4	-0.5	4.4	1.2	-8.0	-0.8	0.0	-9.9	27.4	-38.0
自覚症状											
なし	429	498	560	621	617	539	387	315	301	298	267
あり	438	478	534	591	564	539	359	289	294	354	284
変化分 (%)	-2.1	4.0	4.6	4.8	8.6	0.0	7.2	8.3	2.3	-18.8	-6.4

出所) 筆者による集計。

注) 1989年, 男性を対象。変化分は健康指標が良い状態から悪い状態に変化したときの低下分を表す。

表A-9 (B) 健康指標と賃金所得 (1992年)

(万円)

年齢階層	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-74	75-79	80-
健康意識											
良い	366	426	483	525	515	466	319	273	256	266	331
悪い	382	439	461	480	475	420	305	287	258	273	233
変化分 (%)	-4.4	-3.1	4.6	8.6	7.8	9.9	4.4	-5.1	-0.8	-2.6	29.6
仕事への影響											
なし	368	428	483	524	515	466	323	279	264	265	309
あり	353	376	417	428	407	366	231	239	153	295	158
変化分 (%)	4.1	12.1	13.7	18.3	21.0	21.5	28.5	14.3	42.0	-11.3	48.9
傷病											
なし	368	428	481	521	512	455	317	257	243	276	175
あり	357	421	486	522	508	472	317	297	267	261	368
変化分 (%)	3.0	1.6	-1.0	-0.2	0.8	-3.7	0.0	-15.6	-9.9	5.4	-110.3
自覚症状											
なし	365	427	485	526	524	474	328	271	259	296	325
あり	376	428	469	505	480	434	299	281	252	236	288
変化分 (%)	-3.0	-0.2	3.3	4.0	8.4	8.4	8.8	-3.7	2.7	20.3	11.4

出所) 筆者による集計。

注) 1992年, 男性を対象。変化分は健康指標が良い状態から悪い状態に変化したときの低下分を表す。

表A-10(A) 健康指標と就業継続率(1989年)

(%)											
年齢階層	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-74	75-79	80-84
健康意識											
良い	99.5	99.7	99.5	99.7	99.5	97.5	86.5	82.4	76.5	69.3	65.6
悪い	98.9	97.6	99.4	98.2	97.7	94.0	77.9	76.4	72.2	63.0	46.9
差	0.6	2.1	0.1	1.5	1.8	3.5	8.6	6.0	4.3	6.3	18.7
仕事への影響											
なし	99.5	99.6	99.5	99.6	99.5	97.3	85.8	81.8	75.4	68.7	58.1
あり	96.1	94.2	99.2	97.9	94.5	92.9	79.2	80.8	79.9	63.9	77.3
差	3.4	5.4	0.3	1.7	5.0	4.4	6.6	1.0	-4.5	4.8	-19.2
傷病											
なし	99.6	99.6	99.5	99.6	99.5	97.2	87.4	81.7	74.8	64.6	54.3
あり	98.4	99.1	99.7	99.2	98.5	96.7	82.0	81.7	76.4	71.1	62.3
差	1.2	0.5	-0.2	0.4	1.0	0.5	5.4	0.0	-1.6	-6.5	-8.0
自覚症状											
なし	99.6	99.7	99.5	99.8	99.6	97.5	86.6	81.4	81.2	66.6	57.8
あり	99.0	98.8	99.6	98.9	98.5	96.2	83.2	82.1	68.5	70.3	60.2
差	0.6	0.9	-0.1	0.9	1.1	1.3	3.4	-0.7	12.7	-3.7	-2.4

出所) 筆者による集計。

注) 1989年, 男性を対象。

表A-10(B) 健康指標と就業継続率 (1992年)

(%)											
年齢階層	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-74	75-79	80-84
健康意識											
良い	99.5	99.7	99.5	99.7	99.5	97.5	86.5	82.4	76.5	69.3	65.6
悪い	98.9	97.6	99.4	98.2	97.7	94.0	77.9	76.4	72.2	63.0	46.9
差	0.6	2.1	0.1	1.5	1.8	3.5	8.6	6.0	4.3	6.3	18.7
仕事への影響											
なし	99.5	99.6	99.5	99.6	99.5	97.3	85.8	81.8	75.4	68.7	58.1
あり	96.1	94.2	99.2	97.9	94.5	92.9	79.2	80.8	79.9	63.9	77.3
差	3.4	5.4	0.3	1.7	5.0	4.4	6.6	1.0	-4.5	4.8	-19.2
傷病											
なし	99.6	99.6	99.5	99.6	99.5	97.2	87.4	81.7	74.8	64.6	54.3
あり	98.4	99.1	99.7	99.2	98.5	96.7	82.0	81.7	76.4	71.1	62.3
差	1.2	0.5	-0.2	0.4	1.0	0.5	5.4	0.0	-1.6	-6.5	-8.0
自覚症状											
なし	99.6	99.7	99.5	99.8	99.6	97.5	86.6	81.4	81.2	66.6	57.8
あり	99.0	98.8	99.6	98.9	98.5	96.2	83.2	82.1	68.5	70.3	60.2
差	0.6	0.9	-0.1	0.9	1.1	1.3	3.4	-0.7	12.7	-3.7	-2.4

出所) 筆者による集計。

注) 1992年, 男性を対象。